

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくランドたんぼぼ			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 17日		～	令和7年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 17日		～	令和7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育参加日では親子での活動を通して、親子関係の構築と家庭への般化につなげる。	事前に年間活動予定をお知らせし、説明を行い活動後には必ず振り返りを行っている。	保護者の要望に応えた内容を加え、食事指導や歩行訓練等を別日に設定して行う。
2	集団で活動する中で、子どもに合わせた支援、指導を行うことで、わかりやすく遠德的に取り組める。	毎朝行っているグループダイナミックスでは、子どもたちが周りを見て真似をが出来ることや一緒に動けるように促している。	二人組手つなぎの動作でお互いコミュニケーションを図り、協調性を養う。
3	保護者の送迎時にあいさつと話をすることで、家庭での子どもの様子を伺い、困りごと等があれば相談ができる。	子どもを遊ばせながら保護者が話しやすい雰囲気になっている。相談があれば別室で行う。	子どもの事で気になる事があれば、連絡ノートに記入していただき、後日相談の日を設ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが広いことは良い面もあるが、子どもたちが落ち着かない場面も出てくるためパーテーションを利用している。	机上学習や個別指導の時は、高いパーテーションを利用して集中できる環境をつくる。	子どもの目線に気になるものを減らし、まわりの音が刺激にならないような環境づくり。
2	4時までの延長は行っているが、人員配置の都合で受入れ時間を早めることが出来ていない。	仕事をされている保護者の場合、祖父母等の送迎の協力が必要となる。	職員の勤務時間の変更や体制を検討する。
3			